



令和2年7月29日

## 「インフラわくわくツアー」第二弾！

～インフラを巡る地域密着型ツアーを催行する旅行会社を募集します～

北海道開発局では、より多くの方にインフラに親しんでいただくために、ツアーのテーマに「歴史」はもとより、地域の「産業」、「文化」、「食」といった様々な要素を取り入れた「インフラわくわくツアー」を実施しています。

この度第二弾として、道内の三つの地域（旭川地域、美瑛・上富良野地域、十勝地域）でツアーを実施するにあたり、催行する旅行会社を募集します。

「インフラわくわくツアー」は、北海道開発局の施設に加え、地域の関係機関の施設もメニューに取り入れることで、ストーリー性を持った見学メニューや解説を行い、インフラの整備と地域発展の関係を実感できる内容としています。

### 記

#### 1 ツアーテーマ

- (1) （旭川編）”五感で感じよう！「上川のアイヌ文化と旭川の歴史をたどる」”  
旭川の発展とアイヌ文化の歴史を体感する。
- (2) （美瑛・上富良野編）”五感で感じよう！『美瑛・上富良野地域における火山との共生と対策事業』”  
火山地域の成り立ちを学び、地域とインフラ整備の関係性を体感する。
- (3) （十勝編）”五感で感じよう！『農業王国十勝の開拓の歴史』”  
十勝の農業とインフラの整備が日本の食の安全・安心に欠かせないものであることを体感する。

#### 2 募集期間 令和2年7月30日（木）～令和2年8月12日（水）

#### 3 申込み方法等 応募要領、申込み様式、申込み先等については、北海道開発局ホームページをご参照ください。

URL : <https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/renkei/splaat000001x1fw.html>

#### 4 ツアー概要等 詳細は別紙をご参照ください。

※新型コロナウイルス感染症の影響によっては、募集を中止もしくは内容の変更を行う場合があります。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

開発監理部 開発連携推進課 開発企画官 鈴木 武彦（内線5433）

開発監理部 開発連携推進課 開発専門官 長南 哉（内線5441）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



# ○ インフラわくわくツアー(旭川編)

【概要】

## “五感で感じよう！”上川のアイヌ文化と旭川の歴史をたどる”

### ツアーテーマ 「上川のアイヌ文化と旭川の歴史をたどる」

◇上川盆地にもペニウクル（川上の人びと）と呼ばれるアイヌが暮らしてきました。旭川ではアイヌの歴史と多くの民族資料、さらに文化の伝承と創造に取り組む上川アイヌの姿を紹介する「旭川市博物館」や「川村カ子ト アイヌ記念館」など、アイヌの歴史と文化にふれることができる重要な施設があります。☆本ツアーでは、土木遺産、北海道遺産に認定された旭川のシンボルである「旭橋」や、北海道の開拓と防衛に携わった屯田兵や旧第七師団などの歴史を学ぶことができる「北鎮記念館」などを組み合わせ、旭川 の発展とアイヌ文化の歴史を体感していただきます。

#### 催行予定

令和2年9月～10月の各月1回(全2回)【平日のみ可】(日程は調整の上決定)

#### ツアー定員

各回 20名

#### 諸条件等

- ツアーを企画する際は、以下「メニューリスト」から自由に選択いただけます。ただし、(☆)印のメニューは必須とさせていただきます。この他にもグルメ、観光スポットなど行程に組み入れていただけます。
- メニューリスト「1」では、旭川市職員が解説します。
- メニューリスト「2」では、北海道開発局の職員が解説します。
- メニューリスト「3」では、見学のみで解説はありません。なお、9月は無休、10月は第2・4月曜日(祝日の場合は翌日)が休館日となります。
- メニューリスト「4」では、各種体験などのプログラムがあり、副館長が解説します。なお、休館日はありません。
- メニューリスト「5」では、記念館職員が解説します。なお、月曜日が休館日(祝日の場合は翌日)となります。

※雨天時に備え、雨具やタオルも併せてご用意ください。

※この他の詳細については、催行応募要領をご参照ください。

#### メニューリスト

1 神居大橋及び旧神居古潭駅舎	吊り橋の通行及び旧駅舎の見学及び解説	(所要目安60分)
2 旭橋(☆)	旭橋の見学及び解説	(所要目安45分)
3 旭川市博物館	博物館の見学	(所要目安60分)
4 川村カ子ト アイヌ記念館	記念館の見学及び解説(体験プログラムあり)	(所要目安45～60分)
5 北鎮記念館	記念館の見学及び解説	(所要目安50分)

## ○見学可能な施設

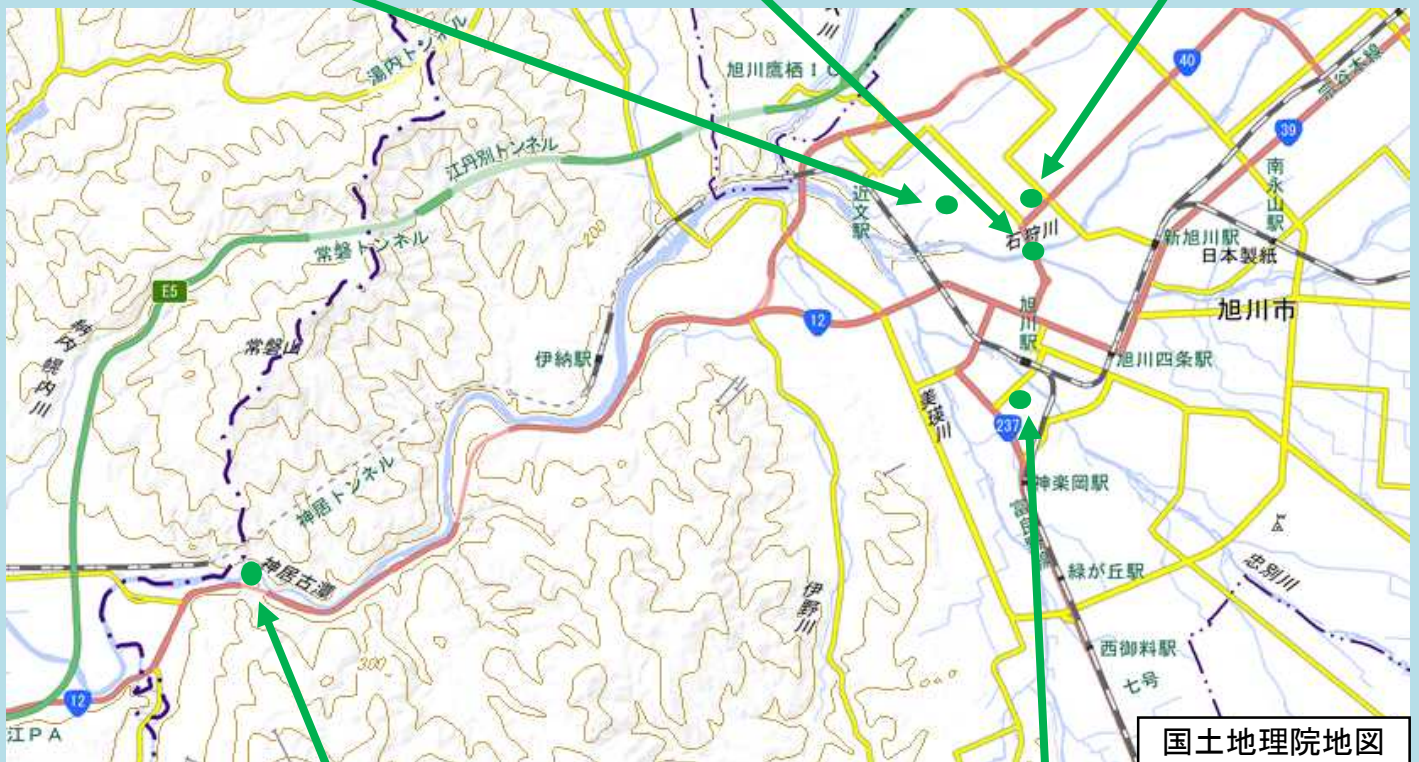
川村 カ子ト アイヌ記念館



旭橋



北鎮記念館



国土地理院地図



神居大橋及び旧神居古潭駅舎



旭川市博物館

# ○ インフラわくわくツアー(美瑛・上富良野編) 【概要】

## “五感で感じよう!”「美瑛・上富良野地域における火山との共生と対策事業”

### ツアーテーマ 「美瑛・上富良野地域における火山との共生と対策事業」

- ◇十勝岳山麓の美瑛町・上富良野町では、1926年(大正15年)に発生した火山泥流により144名もの人々が犠牲となる大災害が発生しました。
- ◇莫大な量の硫酸性の泥土と流木に埋もれたこの地は、並々ならぬ労苦を注いで復旧・復興が成し遂げられました。その後、昭和37年から北海道庁による補助事業、昭和63年からは国直轄の火山砂防事業が着手され、国・自治体・地域が一体となり火山との共生を目指す取組が進められてきました。
- ☆本ツアーでは、美瑛・上富良野地域の開拓の歴史や十勝岳大正泥流と火山砂防事業のあらましについて、実際に現地を巡りながら安心して生活や農業ができるようになった火山地域の成り立ちを学び、地域とインフラ整備の関係性を体感していただきます。

**ツアー定員** 令和2年9月～10月の月1回(全2回)【平日のみ可】(日程は調整の上決定)

**諸条件等** 各回20名

### 催行予定

- ツアーを企画する際は、以下「メニューリスト」から自由に選択いただけます。ただし、(☆)印のメニューは必須とさせていただきます。この他にもグルメ、観光スポットなど行程に組み入れていただけます。
- メニューリスト「1」「2」「4」では、北海道開発局の職員が解説します。
- メニューリスト「3」では、北海道上川総合振興局の職員が解説します。
- メニューリスト「5」では、館長が解説します。

※雨天時に備え、雨具やタオルも併せてご用意ください。  
※この他の詳細については、催行応募要領をご参照ください。

### メニューリスト

1 十勝岳火山砂防情報センター(☆)	火山災害と火山砂防事業について解説	(所要目安30分)
2 美瑛川床止工群とブロック堰堤(青い池)	砂防堰堤の見学・解説	(所要目安40分)
3 富良野川2号透過型堰堤	砂防堰堤の見学・解説	(所要目安40分)
4 日新ダム	噴火による鉍毒被害対策として整備された農業用ダムの見学・解説	(所要目安30分)
5 土の館(☆)	泥流災害からの農地復興の解説・資料(土の標本)見学、蒸気トラクター等の農機具コレクションの見学	(所要目安50分)

## ○見学可能な施設

日新ダム



美瑛川床止工群とブロック堰堤（青い池）



十勝火山砂防情報センター



土の館



富良野川2号透過型堰堤



# ○ インフラわくわくツアー(十勝編)

【概要】

## “五感で感じよう！”「農業王国十勝の開拓の歴史」

### ツアーテーマ 『農業王国十勝の開拓の歴史』

- ◇北海道は日本の食糧基地としての役割を担っており、なかでも十勝地方は「農業王国」と言われ、道内の農業生産の約4分の1を占めています。
- ◇十勝地方は明治初期の民間移民により開拓が進められましたが、火山灰性の土壌や湿地が広く分布しており、農業に適していない土地でした。また、この地域を流れる十勝川や札内川は、度々氾濫し水害を引き起こしていました。
- ◇しかし、その後開拓者の努力と現在まで続く土地改良事業や治水事業により農作物の生産性向上、水害の抑制が実現し、安心して生活や農業が営めるようになりました。また、道路事業により農業生産物の輸送効率化が図られてきました。
- ☆本ツアーでは、日本を代表する食糧基地となるまでに発展してきた十勝の開拓と歴史を学んだ上で、農業を支えるインフラの現場を見学し、さらに農業体験を通じて、十勝の農業とインフラの整備が、日本の食の安全・安心に欠かせないものであることを体感します。

### 催行予定

令和2年9月～10月の各月1回(全2回)【平日のみ可】(日程は調整の上決定)

### ツアー定員

各回 15名

### 諸条件等

- ツアーを企画する際は、以下「メニューリスト」から自由に選択いただけます。ただし、(☆)印のメニューは必須とさせていただきます。この他にもグルメ、観光スポットなど行程に組み入れていただけます。
  - メニューリスト「1」では、月曜日(祝日の場合は翌日 土・日の場合は開館)が定休日となり、記念館の学芸員が解説、ご案内します(感染拡大防止に伴う要請等により学芸員による解説ができないことがあります)。
  - メニューリスト「2」「3」「4」「5」では、平日のみの対応となり、帯広開発建設部の担当者が解説、ご案内します。
  - メニューリスト「6」では、月曜日(隔週で火曜日も)が定休日となり、館長が解説、ご案内します。
  - メニューリスト「7」では無休で、馬の資料館の担当者が解説、ご案内します。
  - メニューリスト「8」では、月曜日(祝日の場合は翌日)が定休日となり、歴史館の担当者が解説、ご案内します。
  - メニューリスト「9」では無休で、自由見学となります。
  - メニューリスト「11」では無休で、牧場の担当者が解説、ご案内します。なお作ったアイスクリームは店舗屋外でのお召し上がりとなります。
- ※この他の詳細については、催行応募要領をご参照ください。

### メニューリスト

1 帯広百年記念館(☆)	十勝の開拓の歴史について学芸員から解説	(所要目安60分)
2 十勝ダムまたは札内川ダム(☆)	ダム外部からの見学や治水事業の解説	(所要目安60分)
3 畑地かんがい事業現場(☆)	国営かんがい排水事業「芽室川西地区」の事業の解説や用水路等工事現場の見学	(所要目安20分)
4 千代田新水路	千代田新水路見学・魚道見学	(所要目安60分)
5 国道274号日勝峠(清水防災ステーション)	平成28年災害復旧の解説	(所要目安30分)
6 ビート資料館	十勝の代表的な農産物、砂糖の原料となるビート栽培や糖業に関する資料について館長が解説	(所要目安60分)
7 馬の資料館	世界で唯一の「ばんえい競馬」が行われている帯広競馬場内にあるばん馬の歴史を展示した資料館	(所要目安30分)
8 とかち農機具歴史館	帯広・十勝地域で明治時代以降に使用された農機具を展示し、農業機械の発展について解説	(所要目安60分)
9 ナイタイ高原牧場	昭和41年に開発局による大規模な草地整備事業「十勝中部地区」により造成された、日本一広い総面積約1,700ha(東京ドーム358個分)の公共牧場	(所要目安30分)
10 農業体験	野菜の収穫体験、馬耕体験	(所要目安90～120分)
11 アイスクリーム作り体験	アイスクリーム作り体験と酪農講話	(所要目安60分)

# ○見学可能な施設

The map displays the following facilities and their locations:

- 十勝ダム** (Joetsu Dam): Located in the upper left, near the Joetsu River.
- 十勝清水防災ステーション** (Joetsu Clear Water Disaster Prevention Station): Located near the Joetsu River, west of Joetsu Station.
- 馬の資料館** (Horse Museum): Located near Joetsu Station.
- アイスクリーム作り体験** (Ice Cream Making Experience): Located near Joetsu Station.
- とち農機具歴史館** (Toki Agricultural Machinery History Museum): Located near Joetsu Station.
- 札内川ダム** (Sakurai River Dam): Located in the lower left, near the Sakurai River.
- 畑地かんがい事業** (Irrigation Project): Located in the lower center, near the Joetsu River.
- ナイタイ高原牧場** (Naitai Plateau Pasture): Located in the upper right, near the Joetsu River.
- 千代田新水路** (Chiyoda New Waterway): Located in the middle right, near the Joetsu River.
- 帯広百年記念館** (Joetsu 100th Anniversary Memorial Hall): Located near Joetsu Station.
- ビート資料館** (Beat Museum): Located in the lower right, near Joetsu Station.
- 農業体験** (Agriculture Experience): Located in the lower right, near Joetsu Station.

出典：国土地理院